

「わが図書館ならではの本！！」

～ 熊毛支部・南種子町立図書館 ～

南種子町に伝わる昔話をもとにした、紙芝居を紹介します。

町内の茎永という場所にある大きな池、『宝満の池』。地元の人にはなじみ深いこの池に伝わる昔話の紙芝居です。

日照り続きで困った当時の村人たちが、からからになった自分たちの田んぼへ「宝満の池」の水を引こうとしたところ、大岩や大木が転がってきたり、大きな蛇が現れたり、大変なことになってしまいました。恐ろしくなった村人は、村の和尚さんに相談します。すると、「みんなで神さまに謝りに行こう」ということになりました。はたして、神さまは許して下さるのでしょうか。

これまで口で語られることが多かった昔話が紙芝居になったことで、子どもたちだけでなく高齢者の方も楽しめるようになり、小学校や福祉施設、地域のサロンなどでも大活躍の作品です。



紙芝居「宝満の池」
文・画 古市安治

